



# LAYANG LAYANG

10-11月の出来事

## 地域ブランドとハラール対応による産業活性化・中小企業振興

11月19日～21日に草の根技術協力事業の終了時評価が実施されました。この調査は、事業の終了に際して、これまでの活動実績をふり返り、事業の効果・目標の達成状況や実施プロセスを評価することで、評価対象事業及び類似プロジェクトの改善に資する教訓・提言を引き出すことを目的としています。この事業では、日本とマレーシア企業とのマッチングにより、ハラール食品の商品開発を行い、ハラール認証の取得を受けてマレーシアでの販路も開拓されました。



ハラール認証を受けた商品(大福)  
写真:株式会社とがち製菓/AD社 提供

草の根技術協力事業「フードバレーとがちを通じた地域ブランドとハラール対応による産業活性化」 期間:2016年1月～2019年1月  
馬側機関:マレーシア中小企業公社(SME Corp)、ケダ州開発公社(PKNK)

## 住み続けられる街づくりをー環境分野ボランティアによる活動



耳を傾ける学生たち

マレー語教材



10月5日、6日の2日間、環境分野で活動するボランティア7名がマラッカで環境教育のワークショップを行いました。5日には小学校4年生約70名に、水の凝縮沈殿とろ過実験、「川を汚したのは誰?」と考えるコマを設けました。目を輝かせた子供たちが印象的でした。翌日はマラッカ工業大学の環境ウィークイベント来場者に対し、雑誌やレジ袋等が埋め立てられた場合、土に還るまでの期間などを展示しながら、ごみ分別の重要性を説明しました。風呂敷コーナーでは、多くの人が手提げやリュックなどが作れることに驚きながら、日本に根付くりサイクルの考えに触れました。

青年海外協力隊(JOCV) サバ州公園局、NGOコタキナバルウェットランド、SWCorp(ケダ、ジョホール、マラッカ、ネグリスンピラン)  
シニア海外ボランティア(SV) サラワク州資源環境審議会

## 低炭素社会に向けたコミュニティ啓発・能力強化シンポジウム

11月18日にジョホールのイスカンダル開発地域において、IRDA、UTM、ジョホール教育庁、京都市、京都市環境保全活動推進協会、気候ネットワークとJICAでシンポジウムを開催しました。

シンポジウムでは、事業で行ってきた、小中学校でのエコライフチャレンジプログラムや、課題解決型学習等の成果発表がありました。政府関係者、教育・学校関係者、NGO、コミュニティから300名もの参加者が集まり、環境教育の重要性と、実現に向けたコミュニティの関わりを学びました。



事業で作った教材を手に



学校での取組を発表した学生

草の根技術協力事業「低炭素社会実現に向けた人・コミュニティづくり」期間:2016年2月～2018年12月  
馬側機関:マレーシア工科大学(UTM)、イスカンダル地域開発庁(IRDA)



## アフリカでのビジネスチャンスセミナーを開催

JICAでは、マレーシアの政府組織と共同でアフリカや中東等の方をマレーシアに招聘して第三国研修を実施しています。この一環で、11月1日にセミナーを催し、カメルーン、ケニア、モザンビーク、セネガル、タンザニア、ジンバブエで貿易に携わる中堅行政官の方々に自国でのビジネスの強みや優先分野をプレゼンしていただきました。また、馬企業の方からのアフリカでの営業やマレーシアやアフリカでの事業の紹介もいただきました。アフリカへ自社商品やサービスの輸出、投資を検討している82社の方々が来訪し、多くの個別商談やビジネスについての詳細の話し合いが活発にもたれていました。



質問に答える6か国の行政官



熱心にメモを取る来場者

第三国研修「アフリカ諸国向け貿易振興」 期間：2016～2018年度 馬側機関：マレーシア貿易開発公社(MATRADE)

## MJIT前院長 JICA理事長賞受賞

JICAと長く協力を行っているマレーシア日本国際工科院（MJIT）の前院長が、MJITの発展や認知度・評価向上、日本の教育機関や民間企業との関係強化に取り組みされた功績から、JICA理事長賞を受賞しました。開校後7年が経過し、1300名の学生が在籍し、多くの卒業生が日系企業等で活躍をしています。また、学部4年生の卒業研究がマレーシアエンジニア協会の最優秀卒業研究賞を受賞するなど、日本式の工学教育の成果が現れています。



授与式



式後のお茶のおもてなし

## 鳥取銀行社長塾ご一行 MJIT来訪



社長塾の方々&MJITの職員



校内のモスクでお祈り体験

総勢19名ものふるさと鳥取創生強者会「社長塾」から鳥取の企業の方々が、11月23日にMJITを訪問されました。

MJITの教員やJICA専門家の協力も得て、日本企業の冠講座を含むMJIT内の研究室の見学や、校内にあるモスクの見学・体験を行ったご一行は、大変満足そうな様子でした。日本に根付く研究室中心の教育を受けた学生のチームワークやコミュニケーション能力が高い様子を垣間見て、参加者の方から「インターンシップの受け入れを積極的に検討したい」とのコメントもいただきました。

円借款附帯プロジェクト「マレーシア日本国際工科院強化プロジェクト」 期間：2018年7月～2023年7月 馬側機関：マレーシア日本国際工科院(MJIT)/マレーシア工科大学(UTM)



トピックス

## マレーシアでの中小企業海外展開事業、インターン受入をきっかけに

今般、マレーシアでのJICAの中小企業海外展開支援事業、技術協力プロジェクトへの協力などから、海外への進出を進められた企業の方のお話をお伝えいたします。

### ■会社紹介(クモノスコーポレーション株式会社)

1995年、阪神淡路大震災の復興支援のため当社は設立しました。測量のみならず、構造物の形状を3Dで多角的に取得する3次元計測や、外壁診断、構造物点検、鉄道設計、システム開発や器械販売・レンタル、そして海外事業を手掛けています。1999年の山陽新幹線トンネルコンクリート崩落事故をきっかけとし、建造物を新しく「造る」ための測量ではなく、既存の建物を「守る」ための測量に主眼を置き、“測れないものを測る”をモットーに、常識を覆す測量システムを発明してきました。社名にもなっているひび割れ計測機「KUMONOS」は100m先の0.4mmのひび割れを足場なしで検出できる世界で唯一無二の機械です。



### ■マレーシアの案件化調査からの展開

マレーシアに初めて我々が足を踏み入れたのは、2012年。当時国内での器械販売が芳しくなかった折、山中教授がノーベル賞受賞の知らせが舞い込みました。「国内で受け入れなければ、海外で受け入れられればよい。そうすれば国内でも認められる。」という成功パターンにならって我々も海外に飛び込んではどうか。海外での人脈もお金もなかった時でした。思い切ってJICAの案件化調査に挑戦したことをきっかけとし、そこからMJITインターン生の受入が始まりました。

### ■インターンシップの継続的受け入れ

2014年から始まり、今年で受入5年目を迎えました。毎年インターン生2人をMJITより受け入れています。今年は初の女性2名！当初は戸惑いもありましたが、活動が始まるとそんな心配はどこへやら。生活にもすぐ馴染んでいただき、各事業部長から「本当に助かった！」と言われるほどに大きく会社に貢献してくださいました。また今年は、インターンシップの受入5周年を記念して、インターン生の同窓会をマレーシアで実施しました。母国で日系企業に就職している方や、シンガポール・ベトナムから駆けつけてくれた方もおり、彼らが大きく羽ばたいている姿を目の当たりにした嬉しい報告の会となりました。



### ■インターン受入を足掛けとした機材の納入

更に有り難いことに、その後マレーシアでは工場の3D計測のお仕事をいただき、今年はMJITからひび割れ計測機「KUMONOS」の機材の受注をいただきました。インターン生には業務として「KUMONOS」や3D業務に携わっていただいております。今回の受注はインターンの継続的受入なくしてはあり得ませんでした。

マレーシアへの進出は当社にとって海外展開を始める第一歩となり、今では26か国でビジネスを展開しています。振り返れば、JICA案件化調査から、マレーシアに挑戦したことが、ターニングポイントとなりました。支えていただいた全ての皆様に感謝申し上げます。

今後も海外事業の更なる発展を目指して参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。  
(クモノスコーポレーション 北浦歩奈)



JICAマレーシア及びニュースレターのバックナンバーはこちら → <http://www.jica.go.jp/malaysia/index.html>

JICAホームページはこちらから → <http://www.jica.go.jp>

配信(追加、停止等)に関するご希望、ご意見、ご要望など → [ms\\_oso\\_rep@jica.go.jp](mailto:ms_oso_rep@jica.go.jp)

### JICA Malaysia Office

Level 29, Menara Citibank, 165 Jalan Ampang 50450 Kuala Lumpur Malaysia

Tel: 603-2166 8900 Fax:603-2166 5900 E mail address : [ms\\_oso\\_rep@jica.go.jp](mailto:ms_oso_rep@jica.go.jp)